

穂坂泰外務大臣政務官によるグローバルフェスタ JAPAN2024 での挨拶文

令和 6 年 9 月 28 日

おはようございます。外務大臣政務官の穂坂泰です。グローバルフェスタ JAPAN2024 の開催に当たり、共催者である外務省、JICA、JANIC（ジャニック）を代表して御挨拶申し上げます。

グローバルフェスタは、今回で 33 回目の開催となります。今年の開催テーマは、「国際協力 70 年、ともに未来へ」です。このテーマに共感いただき、国際協力に携わる様々な団体から多数の御参加をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

今年は、1954 年に日本が ODA を開始してから 70 年目を迎えます。70 年の国際協力の歩みの中で、ODA を通じて多くの開発途上国の発展に尽力してきた実績は、日本の信頼と成長につながっています。

また、現在、気候変動を始めとする地球規模課題の深刻化に加え、ウクライナ侵略や中東情勢など様々な危機が複合化していますが、もはや一国だけで解決できる課題はなく、世界が一丸となって取り組まなければいけないものばかりです。これらの課題は多くの資源・食料等を国外から輸入し、世界経済とは切り離せない日本で暮らす私達の生活にも大きく影響するものであり、決して他人事ではありません。

例えば、皆さんが食べている朝食では、バナナやインスタントコーヒーは約 8～9 割を ASEAN 諸国から輸入しています。また、皆さんが快適に暮らすための冷暖房、ガソリン等の元となる原油は、ほぼ 100% を海外に依存しており、その内 8 割以上も中東諸国に頼っています。

こうした食材や資源を日本に運ぶ際の安全な輸送ルートを確保するためにも、日本は世界中で鉄道、港湾、空港などのインフラ整備を行っています。実は、このような案件の中で、約6～7割を日本企業が受注しているため、日本経済全体のビジネス活性化に繋がっている側面もあります。

地域の安定やグローバルな課題へ対応するODAは、国際社会の平和と安定に寄与しているだけではないのです。ODAは、ここにいる皆さんや私も含め、私たち日本人ひとりひとりの安心した暮らしを守っていくことにつながっています。そして、日本人が他国においても一層活躍していく土台をつくり、世界と日本をつないでいく大切なツールであり、これがODAの真の意義かと思っています。

本日から開催されるこのグローバルフェスタは、そうしたODAや国際協力の意義を発信するイベントです。オープニングにお招きしたDJ K00さんとお笑いコンビ「蛙亭」には、このあと国際協力70周年アニバーサリースペシャルライブで大いに盛り上げていただきたいと思います。そのあとも、2日間にわたり、プログラムが満載です。

国際協力70周年という節目に、本フェスタを通じて、ともに未来へ向けて国際協力に参加する仲間が増えていくことを期待いたします。

ありがとうございました。